

わが家の避難行動マニュアル <風水害編>

保存版

河川洪水

河川が氾濫した場合のわたしの地区の浸水予測は、 m

▲河川名を記入してください ▲浸水予測値を記入してください

河川の浸水予測が0.5m(50cm)以上の場合、 川に、

●警戒レベル3 高齢者等避難
●警戒レベル4 避難指示
が発令された時

わたしの避難行動

④ 自宅の2階以上の安全な場所に避難します。
 ⑤ 親戚や友人の家など安全な場所に避難します。
 ⑥ 風水害避難場所 に避難します。

▲避難場所を記入してください

※どの段階で行動するか決めておきましょう

New 令和3年3月19日に神奈川県により小田原市域の急傾斜地の崩壊に関する土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンが指定されました。指定された区域は、「神奈川県土砂災害情報ポータル」で確認できます。



New 令和3年5月28日に神奈川県により相模灘沿岸における高潮浸水想定区域の指定、公表がなされました。浸水想定区域は県のホームページ「相模灘沿岸における高潮浸水想定区域について」で確認できます。



土砂災害

わたしの地区には、土石流の危険な場所が ある ない
どちらかを○で囲んでください

わたしの家の周辺には、がけ崩れの危険な場所(急傾斜地)が ある ない

わたしの地区に、

●警戒レベル3 高齢者等避難
●警戒レベル4 避難指示
が発令された時

わたしの避難行動

④ 自宅の2階以上の安全な場所に避難します。
 ⑤ 親戚や友人の家など安全な場所に避難します。
 ⑥ 土砂災害避難場所 に避難します。

▲避難場所を記入してください

※どの段階で行動するか決めておきましょう



各種ハザードマップで確認しよう!
洪水ハザードマップ：浸水予測・浸水深等の情報。土砂災害ハザードマップ：土砂災害警戒区域等の情報。(小田原市ホームページで公開中)

その他

- ・浸水予測が0.5m未満(50cm未満)の地区は、**原則 自宅待機**となります。
- ・小さな川や用水路などの氾濫時には、慌てずに2階などへ上がりましょう。
- ・**危険を感じたら**、避難指示等が発令されなくても、**自主的に避難**しましょう。

避難場所とは

「風水害避難場所」「土砂災害避難場所」は、風水害等の発生時や発生が予想される時などに安全に過ごすため**一時的に避難する場所**です。避難場所では、**食料や水、毛布などの提供はありません**ので、必要な物を持参してください。(避難所については「地震編」参照)

わが家の「マイ・タイムライン」記入シート

わが家の「マイ・タイムライン」記入シートを作成して、適切な避難行動を事前に整理しておきましょう！ 記入の仕方は市のホームページで確認



New 令和3年5月20日に災害対策基本法が改正され避難情報の名称や発令基準が修正されました。

	変更前	変更後
警戒レベル5	災害発生情報	緊急安全確保
警戒レベル4	避難勧告/避難指示(緊急)	避難指示
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等避難

		危険度				
		低い				高い
		大雨発生の危険性	重大災害の兆候	災害発生のおそれ	災害発生の高まり	災害発生
避難情報・気象情報	警戒レベル1 早期注意情報(気象庁発表)	警戒レベル2 大雨・洪水注意報等(気象庁発表)	警戒レベル3 (危険な場所から高齢者等は避難!) 高齢者等避難(市が発令)	警戒レベル4 (危険な場所から全員避難!) 避難指示(市が発令)	警戒レベル5 (命の危険直ちに安全確保!) 緊急安全確保(市が発令)	
	事前の確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ▶自宅周辺の災害リスクを確認する □洪水浸水想定区域か □土砂災害の危険地域か ▶自宅の場所の浸水深は? () ▶立退き避難 or 屋内安全確保の判断は? ▶避難場所は? () 	<ul style="list-style-type: none"> ▶非常持出品を確認する ▶避難する際、家族に支援が必要な人はいるか □はい □いいえ ▶避難するときに支援してくれる人の名前と連絡先(名前:) (連絡先:) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶避難場所の開設状況を確認する ▶避難するときに声をかける人が近所にいる? □はい □いいえ ▶避難経路を再確認 ▶避難に要する時間は? (徒歩:)分 	<ul style="list-style-type: none"> ▶全員避難開始(避難先:) ▶避難するときに声をかける人が近所にいる? □はい □いいえ ▶避難場所へ避難できない場合の近隣の安全な場所は? (□ある:) □ない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶自分で命を守る行動をとる(逃げ遅れた場合は、近くの建物や自宅の2階など、より安全な場所に避難し、救助を待つ) <p>※自宅が3m以上の浸水のおそれがある地域や家屋倒壊等氾濫想定区域、土石流等の危険がある地区の方は、早めの「立退き避難」が原則です。</p>
わが家の動き	自宅以外の場所への避難の必要性は? <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない (例) 避難ルートをハザードマップで確認しておく	スイッチ1 ◀事前に避難するタイミング(スイッチ)を決めておきましょう。 (例) 警戒レベル3相当情報の発表 (例) 近所の高齢者(小田原花子さん78歳)に声をかけておく		スイッチ2 (例) 水路の水の濁り具合がいつもとちがうとき (例) 近くの〇〇小学校へすぐに避難する		(例) 親戚等に連絡を入れる
	記入のヒント	<ul style="list-style-type: none"> ・どこから情報を得る? ・避難に関する事前確認は? ・必要な事を書き出しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難先はどこに?、移動時間はどのくらいかかる? ・避難で注意することは? ・気づいた事、忘れてはいけない事など箇条書きにしてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この段階でしなければならない事は? ・もう一段階、避難開始の「スイッチ」を決めておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難完了後も、気象情報に注意し行動すべき事や確認する事を記入しておきましょう。 	

※記載されている内容は、令和3年7月現在の基準で作成しています。法令等の改正により、記載内容が変更になる場合があります。